



[2006/03/25 発行 編集担当：小谷]

先日のTVで早咲きの桜が話題となっていました、このアトリエニュースが皆さんのお手元に届く頃には、そろそろ桜の開花宣言が聞こえてくるかもしれませんね。さて、アトリエニュース第15号をお届けします。予定日よりずいぶん遅れての発行となり、会員の皆様にお大変ご迷惑おかけしたこと、お詫び申し上げます。今号では、昨年末の法人研修旅行の報告、「造形ワークショップ・穴窯づくりに挑戦」の続報、そして2/25(土)実施の実技講習会の様子等お伝えします。

研修旅行「金沢・越中路探訪」の報告

昨年12/17日、「大寒波襲来」との天気予報に不安を感じつつも、富山・金沢方面の研修旅行へ出発しました。東海北陸道を一路北上、最初の目的地・井波木彫りの里へ到着したのは、午後もかなり遅くなってからです。この後、高岡の鋳物工房「利三郎」さんへ。創業140余年あまりの歴史を持つ鋳物屋さんです。鋳造・仕上げ加工までの過程を実演を交えながら丁寧に説明してくださいました。

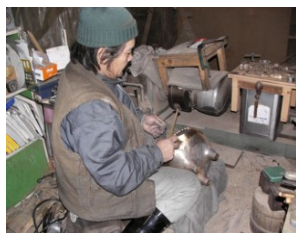
翌日、高岡市デザイン・工芸センターにて高岡クラフトコンペ入選作の展示や、工芸実習体験教室の様子を見学。幅広い視点でデザイン・工芸の振興に取り組んでいるセンターの活動に共感を持ちつつ、訪問を終えることが出来ました。

午後、金沢・近江町市場で新鮮なお寿司の昼食をとったあと、「金沢21世紀美術館」へ。入り口が四カ所もある円形の建物の中は、驚き・感動の連続。建築と同化した現代美術の作品規模の大きさ、そして端正な表現に清々しい気持ちになったことです。

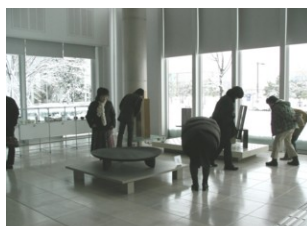
帰路は雪に阻まれ、渋滞等大変難儀をしましたが、その分昨年にも増して、思い出深い旅行となりました。



雪の白川郷 ゆっくり見れたかったのですが、時間の都合で車の窓からカメラで「パチリ」



高岡、金屋町にある「工房・利三郎」の神初さん、丁寧に実演してくれました。



高岡市デザイン 工芸センターには高岡クラフト展の入選作品等が展示してあります。



金沢21世紀美術館では、スケールの大きな展示に感動！最後に全員で記念写真です。

ワークショップ「穴窯づくりに挑戦」窯詰め・焼成編

12月24日、作品の窯詰め。窯の中に入れるのは2、3人、外から作品がリレーされながらどんどん詰められていきました。焼成は25日にスタートの予定でしたが、あまりの寒さに粘土が凍ってしまいそうになり、急遽24日の夜からあぶりを始めることになりました。

25日、10時、窯の神様に無事を祈願し、いよいよ焼成が本格的に始まりました。最初はとにかくゆっくり温度を上げなければいけないということで、薪をくべている皆さん、やや物足りない様子。けれども、途中からどんどん温度を上げ、26日夜には順調に1,200℃まで上がりました。そのまま、赤松を焚き続け、1,250℃前後をキープ。窯の焚き口を開ける人、薪を手渡す人、薪を投げ込む人の3人でグループをつくり、24時間、交代しながらの窯番でした。そして28日夕方6時に準備した赤松を全部使いきり、最後はすべての開口部を一度に閉め、終了しました。



運び込まれた焼成前の作品。すごい量ですね



窯の中に入って慎重に作品を積み上げます



昼夜交代で絶やすこと無く薪を入れ続けます



火力が上がリ煙突からも吹き上げる「炎」

ワークショップ「穴窯つくり挑戦」窯出し編

1月7日、「どんな出来になっているか」という期待と不安の中、雪が降る中での窯出しが行われました。作品の焼きあがり、どれも予想を裏切る(?)素晴らしい出来栄で、初めての穴窯焼成は無事、大成功!その後「ぼたん鍋」で打ち上げをしました。

講師の外儀さん、ボランティアの学生さん、お手伝いや差し入れをしてくださった方々始め、参加してくださった皆さまお疲れ様でした。ありがとうございました。(会員 田井 佳子さん寄稿)



いよいよ窯出しのとき、期待と不安でドキドキしながら作業を見守る



開けた窯の内部、自分の作品がどうなっているか気になるところです



炎の「あたり」の強いところ、弱いところで作品の表情が違いますね



初めてにははまらずの仕上がりに一同、満足げな様子

実技講習会「平織り・コースターづくり」の報告

2/25(土)午前10時より、青山公民館の共催を得て、地元ケーブルテレビの取材が入る中、NPO法人 Arts Planet Plan from IGA 事務所にて開催されました。

伊賀市内外含めて14名の参加者がありました。

川合千束(かわいちづか)さんを講師に岡田毅志さんを講師補助として来て頂き、枠づくりから始め、技法書ではなかなか分かりにくい細やかな所まで、マンツーマンに近い形で指導してもらいながら仕上げることが出来ました。



講師の川合先生の説明



織り枠作りの様子



織り始め・みんな真剣です



できあがった作品です

「風と土のかたち」展 5/14(日)~21(日)のご案内・・・そして残念なお知らせ

前号でもお知らせしましたが、「風と土のかたち展」は、2006年5月14日(日)~21日(日)に開催することになりました。(搬入5月13日(土)・詳しくは別紙にてお知らせします)

多くの会員の方に参加して頂きたいと考えていますので、早い目に作品の準備をお願いします。

(昨年は平面作品の参加が少なく壁面が淋しかったので、今年は平面が充実するよう奮ってご参加ください)

さて、今夏予定していました“Artist in Residence at IGA 2006”ですが、伊賀市から(財)地域創造に申請した助成金が不採択となり、今年度の実施を見送ることとなりました。森田代表と立田、石津、道中などの会員が行政側と打ち合わせを進めてきましたが、このような結果となりました。

残念ですが、講習等の次なる機会に皆さんのエネルギーを集集して頂けますよう、よろしくお祈りします。

最後にお知らせです

- 法人のホームページ、ぜひご覧ください。あわせてご意見、ご感想、ご質問等お寄せください。

アドレス: <http://www.appfi.org>

Eメール: contact@appfi.org

- 「ARTな発見」や展覧会情報等を法人HPのBBS(伝言板)にて紹介してください。
- 年度更新の時期です。継続会員の方は、年会費の入金等ご予約ねがいます。
- 会員氏名は随時法人HPにて更新していきますが、訂正等ありましたら事務局あてご連絡ください。